



津市一身田町2843  
高田中・高等学校内  
樹心同窓会事務局  
電話059-232-2442



柔 構 造  
同窓会会長  
佐脇 功

会員の皆様には国内外、各界で活躍の程、お喜び申し上げます。平素から同窓会運営にご理解ご支援を賜っておりますことに感謝いたします。

母校の現況は学苑長をはじめ先生方からご案内されていますが、高校の大学進学は著しく好成績をあげクラブ活動等においても目覚ましい成果が見られました。短大の就職率は毎年ほぼ一〇〇%を維持しています。先生方のご指導と在学生、在校生の



学苑近況報告  
学苑長  
田中 和磨

学苑にとつて今年は大変嬉しいことが続きました。

その第一は、本校卒業生の松田直久氏が広域合併した新しい津市の初代市長に就任されたことであり、また、二十九万市民の期待に応えて、敏腕を振り、重責を果たすべく奮闘をいただけたものと確信して

おります。  
第二に嬉しいことは、新校舎第一期建築完了のお知らせであります。工事も順調に進み、この4月から、新館5階建てに29教室、約千名の生徒がピカピカのまるでホテルのようなホールムームで、嬉々として勉強しています。第二体育館も、一階柔道場、剣道場、二階卓球場、プラスチックバンド部、各室とも充分スペースとあり、三階は箏曲部をはじめ各文化部室にバルコニーを付設してあり、快適なガラス張りの明るいモダンな部室群が出来ております。  
第二期工事は、5月に起工式を挙

ご努力に敬意を表します。  
中学・高校の校舎改築は平成十七年度一期工事に続き本年度も第二期工事が施工されています。昨年度完成の体育館、五階建の新校舎は目を引く素晴らしい建築です。

木造建築と言えども東大寺は大きさの点で有名ですが木造建築の宝庫は法隆寺だと思えます。飛鳥様式をはじめとして奈良時代から江戸時代までの粋が集まっています。千三百年を経た五重塔が何回かの台風や地震にも耐えて美しい姿を保っていることに驚歎します。古代の人々の知恵、技術と信仰に尊敬の念をいだくものです。法隆寺の堂塔建物が千年をこえて持ちこたえているのは何度も修復が行われたことも理由の一つであるが、主要な部分に樹齢千

年以上の松材を使用していることと飛鳥時代の人々が掘立柱式から礎石式に変えた創造力、柔軟な考え、ひらめきが大きな理由だと言われています。五重塔の心柱は掘立式と礎石式の併用です。

日本で超高層ビルの第一号は東京の霞が関ビルで三六階、高さ一四七メートル、昭和四三年の竣工です。地震の多い日本では地震の体験から剛く造ることで地震に対する対策をたててきましたが、千年をこえて五重塔が倒れないで立っていることにヒントを得て柔構造の考え方が編み出されました。五重塔の耐震原理が完全に解明されたとは言えないが、長周期構造(柔構造)であることは確かだそう。とにかく地震の力をうまくかわすように考え出されているという点では免震構造であることは疑いのないところ。超高層ビルは鉄骨構造です。鉄骨に使用される鋼は強度が強く、粘りにすぐれている。柔構造では地震や台風力が建物にたわむようになっているが元に戻らなくてはなりません。従って粘りのある素材が必要です。地震

げました。3号館改築工事として只今工事中で、本年の同窓会総会には、その様子を見て頂けます。この第二期工事も完成は来春3月であります。この説明については、中学校長望月先生の近況報告に譲ります。

また、第三の嬉しさは、中高の進学成績のすばらしさであります。その各週刊誌上に載せられた記事については、同じく、望月先生の近況報告をご覧になって下さい。また、短大については、村澤学長より詳細なる報告がありますのでご覧ください。ことをお願いして私の報告といたします。



高田中・高等学校〈完成予想模型写真〉

に対して安全な超高層ビルは建物の構造を柔らかくすれば、それでよいというものではありません。柔らかすぎれば変形して元に戻らなくなり、柔らかさと粘りをもっていることが必要です。  
かなり前から多くの企業で柔構造体質の必要性が叫ばれ、多くの組織や機関においても柔構造組織の必要性が言われてきました。社会の急速な変化、時代のめまぐるしい進展、産業構造の著しい変化に柔軟に対応して行くために柔構造の考え方が必要であると言われています。

を続ける所存です。今後とも一層のご鞭撻ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年度

### 高田学苑樹心同窓会総会

平成18年8月6日(日) AM10:00~

- 追悼会 高田高校本館講堂(5F)
- 総会 同上
- ミニコンサート 小野寺 里織
- 懇親会 総会終了後本館会議室(3F)

※会費2,000円当日本館1F受付で頂きます。  
※お車で越しの方は職員駐車場をご利用ください。



高校報告  
中近況  
中高校長 望月 演

樹心同窓会の会員の皆様には、お変わりもなく、ますますのご健勝のこととお慶び申し上げます。

今、学校では、校舎改築の第一期工事が完了し、第二期工事を行っております。去る五月三十日に起工式を済ませました。名称を3号館(校舎を南側より勘定して三番目)と呼びます。

今春完成しました第二体育館(三階建て)・5号館(五階建て)・29教室)では、毎日楽しく勉学に部活動にと活動する生徒の明るい声がこだましています。また教室施設もさるこ



短大の近況  
短大学長 村澤 忠司

樹心同窓会の皆様方には、お変わりなく、ますますご健勝にご活躍のことと存じお慶び申し上げます。

ここちよい日差しの初夏の季節に、高田短期大学では、開学四十周年記念式典を挙行できましたことをご報告致します。五月十八日に、高田学苑長田中和磨先生、樹心同窓会長佐脇 功先生をはじめ、高田学苑の教職員、福祉施設の関係者、本学名誉教授の皆様方にご臨席賜り、学

とながらロッカーを設置したことトイレを美しく明るく、使いやすいたこと、校舎モレンガと一部ガラス張りで見外見も立派で大変に好評を得ています。

二期工事の3号館は今までの西館と旧講堂に変わるもので、一階に礼拝堂・図書館、二階に進路指導室・被服室1、三階に生物室・物理室四階に化学室・プラネタリウムなど特別教室棟になります。国際交流室も作ります。また、本館も一部改修して本館一階西側が正面玄関になり、二階には学生ホールを設置し、職員室もさらに大きくします。

さて、去る三月には、三年制四百二十八名・六年制百九十三名、合計六百二十一名が巣立っていきました。四月に新入生、中学生二百二名、高校生四百四十二名を迎え、中学か

生・教職員と共に集い、開学四十年をお祝い致しました。昭和四十一年、高田学苑に、高田短期大学が設置されて以来、本学が地域の高等教育機関として根付き、成長してまいりました。この間、幾多の困難のなかで短期大学の発展のために学苑関係者や旧教職員を始めとして、先輩諸氏の努力が有って実現することが出来ましたことであり、皆様方に心よりお礼申し上げます。

本学は、当初は、保育科の一学科で開設致しましたが、昭和五十九年には教養科が併設され、その後、両学科は名称変更や内容の改革をへて、幼児教育学科とオフィス情報学科として整備充実されてきました。この間には、施設の面では、体育館

らの内部進学者百七十九名を合わせると六百二十一名と出入りの人数が偶然にも一緒でした。そして、この少子化の時に募集定員よりも六十二名も多く入学してきたことは、本校の人気の高さや世間の信頼を得ていることを示していると思うと同時に責任の重さを感じております。

全校生二千四百八名で県下一の学校で元気のあることを示しています。元気といえ、この三月の大学入試結果です。国公立大学合格者は、百九十七名で新記録でした。

東大十七名・名大十六名・三重大三十七名・京大十名・阪大十名などと、また、人気の医学部へは、三重大の十五名を筆頭に国公立大医学部に三十五名、私大医学部に三十名と好成績をあげました。

このことは三月から五月にかけて発刊されている週刊読売・朝日・サ

の新築、音楽棟の増設、駐車場の整備、図書館の新設、さらに、平成十五年には旧一号館の五階建ての改築に合わせて長年の希望でありました新講堂が完成して、近代的な短期大学へと生まれ変わりました。また、地域の要請に応えるべく改革の一環として、平成十六年には、地域開放型の育児文化研究センターを新設しました。また、十七年には、従来の仏教文化研究センターの内容を再構築して、仏典の研究や本学の仏教行事を近隣や地元の福祉施設の方々に公開するように強化充実に取り組んでいます。この両研究センターを通して、学内の学生への教育だけでなく、地域のシンクタンクとして、地域の住民や県下の幼稚園、保育所、

ンデー毎日などが高田高校の国公立医学部合格者数は全国十六位とか国公立医学部・東大・京大の合格率は全国二十一位と紹介されています。部活動でも、高田の元気を示すべく大活躍中です。

入部状況を紹介しますと中学生は六百十六名中、運動部に四百二十三名(六十八パーセント)文化部百五十一名(二十五パーセント)入部率九十三パーセントです。朝は早くから朝練、放課後は六時ころまで熱心に汗を流しています。

今年津市の合併で今までの津・安芸大会から名称を津市中学校春季総合体育大会となり、今までより7校増えて二十二校になりました。人気のサッカー部が優勝しました。高校は千七百九十二名中、運動部に五百名、文化部に三百三十名、生徒会直属部に七十名、合計約九百名

市町村の教育委員会、福祉施設の諸団体などへの出前講座や公開講座に積極的に協力をして、短期大学の開放に努めています。

さて、ここで、卒業生の就職について、少し触れておきます。混沌とした社会の変遷の中で、経済の低成長の厳しい社会状況が続きました。が、本学卒業生は地域の保育所・幼稚園、地元の中小企業への就職は毎年ほぼ百%の就職率を維持させて頂いています。特に、幼児教育現場では、園長や主任といった重責を担って頑張っている者、事務職員として地元企業や病院・学校等で在学中に身につけた知識や技能を駆使して職務に励む卒業生も多数にあがっています。多くの卒業生が、各界でご活

が入部、中でもソフトテニスに六十八名、野球・ハンド・バスケットには四十名以上が、文化部ではプラス六十四名、仏教三十五名などが大所帯で活躍中です。

六月の東海総合体育大会には、団体で卓球部男子・同じく女子がなびなびな部として新体操部の4つの部が三重県代表として出場決定。

- 個人の部では、卓球ダブルス  
4 山口春樹・5d 高藤雅史組  
C 後藤和真・3 小林勇徒組  
2 長尾亜紀・C 三浦由美組  
剣道部、6a 湯田 樹、なぎなた部、4c 山中祐貴子・4b 服部有希子、6b 中西直里・6c 小林英理奈・6a 塚本明子・新体操部 C 瀬古口真成 C 安川智也、ボクシング部ライトフライ級6d 矢田琢郎・フェンシング部個人エペ 1 秋田実都、他に陸上競技の競歩部門で

B 池村リサの面々。

馬術部は、すでに六月初旬に行われた東海大会で団体が準優勝して八月の北海道にインターハイに出場が決定しています。

また、昨年数学オリンピック金メダルの5d 片岡俊樹は、日本のキャプテンとしてスロベニア大会に出場さらに情報オリンピックのメキシコ大会にも出場を決めております。

その他 夏休みが過ぎますと文武両面にわたってすばらしい活躍が知らされてきます。特に十月・十一月には、テーマ作文コンクール・読書感想文・俳句などの入賞者が決まっています。大いに楽しみにしているところですよ。

同窓各位のご活躍を念じながら近況報告とさせていただきます。

躍され、また、成果を得られていることは、後輩の学生への大きな教訓と励みになっています。

開学四十周年の記念事業として、本学の教育の原点である「建学の精神」をより具現化するために、福祉社会への貢献を念頭に置いた教育研究活動に積極的に取り組んでいく覚悟でございます。幼児教育者の養成や企業活動で必要な実践的職業教育に加えて、高齢者の生活支援や子ども福祉に目を向ける・優しい気持ちを持つ学生を一人でも多く地域に送り出していける教育体制へと整備充実に取り組んでいま

# 新任教職員紹介

- 一、氏名
- 二、担当教科
- 三、担当部活動
- 四、趣味・特技
- 五、着任のことは

## 中・高等学校

- 一、森川 昌浩
- 二、技術・情報
- 三、馬術部
- 四、ゴルフ・日曜大工・写真(花)
- 五、本年度四月より母校である本学苑でお世話になることができ大変うれしく思っております。現在馬術部の顧問になり、青春時代に民家の家に預けた所から馬に乗って、三重大や高田短大での練習に通ったことが忘れられない思い出となっております。生徒には部活動を通して楽しさや、人との出会いを人生の宝として身につけることが

す。その事業の一つとして、人間介護福祉学科と子ども福祉コースを新設致しました。本学は、四月の新学期から、子ども学科(幼児教育コース)子ども福祉コース、オフィス情報学科、人間介護福祉学科の新体制で臨みます。

開学四十周年の節目を機に、これまでの本学の発展にご尽力頂きました卒業生の樹心同窓会会員各位に深く敬意と謝意を申し上げ、高田短期大学開学四十周年記念の事業を含めた近況報告とさせていただきます。

出来る様、努力をおしまないつもりです。今後とも御指導の程宜しくお願いいたします。

- 一、八木 迪子
- 二、理科
- 三、科学部(電気班)、生花部
- 四、バレエ、スキー
- 五、本年度より、母校である本学苑でお世話になることになり、卒業した学苑に今度は教師として携わっていくことができることを大変嬉しく、誇りに思っています。

授業だけでなく、クラブ活動、日常生活を通して、学校が生徒たちにとつて少しでも楽しく、もつといういろいろなことを学びたいと思える場所になるようにできるかぎりの努力をしていきたいと思っております。

まだまだまだ教師として至らない部分も多々ありますが、早く一人前の教師になれるよう精一杯頑張りますので、ご指導の程、何卒よろしくお願いします。

## 平成17年度高田学苑樹心同窓会決算報告書

収支決算書 (H17.4.1 ~ H18.3.31)(円)

項目	金額
<b>収入の部</b>	
前年度繰越金	2,972,012
株式配当金(中部電力)	452,818
株式配当金(みずほホールディングス)	12,318
総会費	102,000
同窓会入会金(高校) 621名 × 3500円	2,173,500
同窓会入会金(短大) 179名 × 3500円	626,500
130周年記念誌代	24,760
卒業生簡手数料	16,169
購買部より補助金	200,000
預金利子	15
<b>収入合計</b>	<b>6,580,092</b>
<b>支出の部</b>	
総会費	167,254
役員会費	110,145
会報印刷費	510,837
会報発送費	1,219,096
通信費	12,660
慶弔費	68,800
卒業記念品費(高校)	227,500
卒業記念品費(短大)	73,211
同窓教職員歓迎迎会補助金	100,000
短大部会補助金	11,880
個人情報委託手数料	315,000
事務消耗品	37,432
コピー機台	57,000
雑費(原稿寄稿お礼図書券)	3,000
定期預金へ	200,000
<b>支出合計</b>	<b>3,113,815</b>
<b>次年度繰越金</b>	<b>3,466,277</b>

## 財産目録 (H18.3.31現在) (円)

項目	金額
<b>基本財産</b>	
同窓会館建設基金	11,884,051
百五銀行定期預金	5,484,889
百五銀行定期預金	1,704,280
株券 中部電力(8,115株)	
株券 みずほホールディングス(3,911株)	
<b>運用財産</b>	
百五銀行普通預金	3,466,277

しくお願いいたします。

- 一、中井 愛
- 二、英語
- 三、吹奏楽部
- 四、音楽鑑賞、茶道
- 五、本年度四月より母校である本学苑でお世話になることができ、大変嬉しく思っております。在学中お世話になった先生方と同じ教壇に立たせて頂くことができ、毎日の引き締まる思いでいっぱいです。着任して早二カ月が過ぎましたが、毎日授業に、部活動にと奮闘しております。

まだまだ至らぬ点も多く、多くの先生方のご教授を賜わりながらではありますが、日々努力精進していきたく思っています。何卒、御指導宜しくお願い致します。

- 一、上野 壮一
- 二、国語
- 四、暮、旅行
- 五、母が真宗高田派の寺の出のためこの一身田の地には特別な思いがあります。

そこで又、三年ぶりに教壇に立つことになったのも私の御導きでしょうか？

- 一、眞弓 峻英
- 二、理科
- 三、高校ソフトテニス部
- 四、F1観戦・大相撲観戦・ピアノ
- 五、本年度より母校である本学苑で教鞭を執らせて頂くことになり、大変嬉しく思っております。

理科を学ぶ第一歩は疑問に感じるのだと考えております。日々の生活を送る中で、目の前で起る現象を我々は「当たり前のこと」として捕らえがちです。しかし、よくよく考えてみるとそこには不思議なことがたくさんあります。そしてその多くは理科の知識で説明することができるはず。当たり前のことを当たり前として捕

- 一、岡田 陽子
- 二、英語
- 三、高校陸上競技部
- 四、音楽、映画鑑賞
- 五、本年度から母校である本学苑でお世話になることができ、大変嬉しく感謝致しております。

らえては、そこから何も生まれません。疑問に感じる心の育成。これをテーマに授業を展開していきたいと思っております。今後ともご指導の程宜しくお願い致します。

生徒と接し、先生方のご教授を賜りながら、自らの未熟さと勉強不足を身に染みて感じる毎日です。

- 一、三岳 明奈
- 二、数学
- 三、中学卓球部

何分未熟者ではありますが、本学苑の生徒の健やかな成長の手助けが出来ますよう、真摯に努力して参る所存です。御指導の程、何卒よろしくお願い致します。

四、クラシックギター、スポーツ、映画鑑賞

五、本年度から母校である本学苑で教鞭を執らせて頂くこととなり、大変嬉しく、感謝いたしております。授業やHR活動を通して、生徒との信頼関係を確かなものとし、学業面、精神面の相談にも対応できるような教師を目指して一杯頑張りますので、ご指導の程、宜しくお願い致します。

一、 OUDHEUSDEN PAULIAントウ  
一 ボール）  
二、 A C T

今年から、A C Tとして伝統ある本校でお世話になれることを光栄に思っております。私はニユーヨーク出身で、来日し12年になります。

本校では、単に教室で英語を教えるだけでなく、英語がいかに我々の日常生活と密接な関係があり、又役に立つものかも示せばと感じています。一旦、生徒の皆さんが英語に興味を持ち、英語を学ぶ目的さえ見い出せば、英語を学ぶ動機づけが自然に出来るはずで、その動機づけを導くことが、私たち教員の責務であると感じています。私は、教室でも、部活でも、生徒の皆さんと会う時は、いつもそのことを心がけています。

これからも、学校全体のA C Tとして、皆さんが気軽に声をかけて下さることを期待しています。

- 一、稲垣 聡支
- 二、社会
- 三、中学野球部
- 四、ギター、ゴルフ、野球観戦

五、本年度から伝統ある本学苑でお世話になることができ、大変感謝しております。

学生時代お世話になった先生方と同じ職場で働くことができるといふ喜びを噛みしめ、しかしそれに甘えることのないよう心懸けていきたいと思えます。初日に諸先生から預かった、「身を粉にして働け」と「フットワークを軽く」というお言葉を忘れることなく、一杯努力していきます。今後共、御指導の程よろしくお願い致します。

一、鷹阪 信明  
二、事務部庶務課  
三、なし  
四、ゴルフ

五、開校百三十四年という歴史と伝統ある、そして母校でもある高田学苑に今年四月から奉職させていただきます。大変嬉しく思っています。学苑校舎の大いなる変貌に驚きつつも懐かしさを感じているところですが、「仏教精神を基として宗教的情操を培い、人間性豊かな社会人を育成すること」とした建学の精神と、これに根ざした校訓の「言行忠信 表裏相応」を宗として、これからも業務を遂行していきたいと思っております。皆様方のご指導よろしくお願い申し上げます。

- 一、木村 絢子
- 二、事務職
- 三、なし
- 四、音楽鑑賞
- 五、本年度より事務局総務課の一名としてお世話になり、感謝しております。母校である上に、伝統あ

る本学苑で教職員の皆様のご指導のもと、勉強させて頂いていることを大変嬉しく思っております。

着任して2ヵ月足らず、多忙な中にも教職員の皆様の笑顔に包まれ、楽しく新鮮な毎日を送っております。総務課の仕事は、教職員の皆様生徒のサポート的な存在であり、責任のある業務であると感じております。日々成長し、初心を忘れることなく、本学苑のさらなる発展に貢献していきたいと思っておりますので何卒宜しくお願い致します。

### 短 大

一、望木 郁代  
二、教育心理学、発達心理学、乳幼児心理学、精神保健  
四、テニス、読書

五、この四月より、短期大学子ども学科に講師として着任いたしました。高田高校を卒業してからずいぶんと月日がたつてしまいました。が、またこの学苑にご縁があり、戻ってこられましたことを、心より感謝申し上げます。担当科目は心理学関係です。もう一度親鸞さまの教えを紐解きながら、人のことろについて考えていこうかと思っております。微力ながら一杯努力いたします所存でございますので、よろしくお願いいたします。

- 一、市田 敏之
- 二、教育・保育実習研究、幼児教育者論、教育実習、教育実習、保育実習、保育実習、保育実習、ボランティア精神

四、釣り、スポーツ観戦  
五、本年四月より、短期大学子ども学科に講師として着任しました。

主として、実習関連科目を担当させて頂いたのですが、学生にとって効果的な実習が実現するよう職務に励みたいと考えております。現在のところ、大学で学ぶ研究知と実習で学ぶ実践知との相互関連をいかにして学生に認識させることが望ましいのかを試行錯誤しながら取り組んでおります。今後とも御指導のほどよろしくお願い申し上げます。

一、北角しのぶ  
二、事務局学務課  
三、なし  
四、油絵、音楽、美術・映画鑑賞

五、伝統ある高田学苑に長くお世話になることができ感謝致します。昨年まで進路課でお世話になっておりましたが、新たに本年四月から実習助手として子ども学科の実習事務を担当させて頂いております。また、育児文化研究センター係もさせて頂いております。実習先、学生への気配りを大切に、円滑な実習事務に力を注いで参りたいと思っております。一杯頑張りますのでご指導の程よろしくお願い致します。

- 一、鷺見 裕子
- 二、家政学概論、家政学実習、小児栄養
- 四、山歩き、卓球
- 五、本年度より設置されました人間介護福祉学科に着任いたしました。長き伝統ある高田学苑の一員とさせて頂きましたことに感謝いたしております。

担当いたします教科は日常の生活を対象とします。講義・実習・演習をおして知識と技術の習得のみでなく、日々の生き方をみなおし、暮らしている社会をみつめ、ひとりひとりが生活者として「自分らしい生き方」をしていくこと大切さを学生とともに学んでいきたいと思っております。何卒、よろしくお願い申し上げます。

一、山田 亮一  
二、社会保障論、社会福祉、地域福祉  
四、映画、旅行、水泳  
五、今年から伝統ある本学苑でお世話になることができ、大変嬉しく感謝いたしております。

平成十八年四月に「人間介護福祉学科」が開設されました。「人間」理解、「介護」技術、社会「福祉」を総合的に学べる新学科として、時代の新しいニーズに対応できる福祉人の養成に大きな期待と抱負をもって、教育研究に邁進しております。

一、森 和子  
二、介護関連科目（介護技術、介護実習指など）、人間福祉基礎演習  
四、旅行、映画鑑賞  
五、本年度より、伝統ある高田短期大学の施設である「人間介護福祉学科」に着任させていただきました。心から感謝致しております。

人間介護福祉学科では、自分の専門である看護学の知識や技術を活用し、介護福祉教育に努めていきたいと思っております。特に、介護と看護の共通点である「人々への援助」という点を重要視し、暖

かなやさしいケアのできる介護福祉士に育ってもらえるように学生を導きたいと思っております。まだまだ未熟者ですが、何卒宜しくお願い致します。

- 一、長岡さとみ
- 二、介護概論、介護技術、形態別介護技術、介護実習指導、介護実習
- 四、旅行、温泉めぐり、書道
- 五、4月から人間介護福祉学科のスタートと共に、本学苑に着任できましたことを大変嬉しく感謝いた

# 進路指導

## 進路指導部

平成十七年度生(平成十八年三月卒業)は三年制 類が二三三名、類が一九五名、そして六年制が一九三名、計六二二名でした。平成十八年度入試の合格結果を、既卒生も加えてご報告いたします。

### 〔六年制コース〕

- ( )内は人数 ( )なしは一名
- 国立大学
- 東京大 ・ 京都大 ・ 大阪大 ・ 名古屋大 ・ 三重大 ・ 千葉大 ・ 北海道大 ・ 東京外国語大 ・ 山口大 ・ 東北大 ・ 一橋大 ・ 神戸大 ・ 岡山大 ・ 横浜国立大 ・ 徳島大 ・ お茶の水女子大 ・ 東京工業大 ・ 金沢大 ・ 信州大 ・ 静岡大 ・ 名古屋工業大 ・ 大阪外国語大 ・ 広島大 ・ 旭川医科大学 ・ 筑波大 ・ 電気通信大 ・ 東京農工大 ・ 新潟大 ・ 福井大 ・ 山梨大 ・ 奈良女子大 ・ 島根大 ・ 長崎大 ・ 大分大 ・ 鹿児島大 ・ 琉球大

しております。

高齢者や障害をもつ方達の介護をさせて頂く時、専門的な知識や技術だけにとどまらない、あたたかい心でもって対象者に接することができ、学生の教育に努めたいと思います。  
また医療現場にいた経験を生かし、福祉施設での医療的対応や知識も伝えていけたらと思います。今後ともよろしく願っています。

- 公立大学
- 名古屋市立大 ・ 大阪府立大 ・ 首都大学東京 ・ 都留文科大 ・ 岐阜薬科大 ・ 大阪市立大 ・ 九州歯科大
- 文部科学省所管外
- 防衛大学校
- 私立大学
- 早稲田大 ・ 慶応大 ・ 東京理科大学 ・ 上智大 ・ 中央大 ・ 明治大 ・ 法政大 ・ 国際基督教大 ・ 津田塾大 ・ 立教大 ・ 東京薬科大 ・ 日本大 ・ 青山学院大 ・ 駒澤大 ・ 芝浦工業大 ・ 昭和大 ・ 北海道情報大 ・ 自治医科大学 ・ 学習院大 ・ 杏林大 ・ 順天堂大 ・ 成蹊大 ・ 専修大 ・ 東海大 ・ 東京医科大 ・ 東京慈恵会医科大 ・ 東京女子大 ・ 東京女子医科大 ・ 日本医科大 ・ 日本歯科大 ・ 星薬科大 ・ 神奈川大
- 南山大 ・ 名城大 ・ 藤田保健衛生大 ・ 愛知学院大 ・ 中京大 ・ 愛知工業大 ・ 金城学院大 ・ 皇學館大 ・ 金沢工業大 ・ 愛知医科大

- 国立大学
- 三重大 ・ 東京海洋大 ・ 秋田大 ・ 筑波大 ・ 宇都宮大 ・ 富山大 ・ 金沢大 ・ 静岡大 ・ 大阪教育大 ・ 福岡教育大 ・ 高知大 ・ 琉球大
- 公立大学
- 三重県立看護大、愛知県立芸術大、兵庫県立大
- 私立大学
- 日本大、東海大、駒澤大、東京農業大、専修大、東京電機大、帝京大、東京理科大学、青山学院大、中央大、千葉工業大、杏林大、工学院大、明海大、創価大、明治大、立教大、東洋大、駒澤大、武蔵工業大、北海道医療大、東北芸術工科大、国際医療福祉大、尚美学園大、東京医療保健

### 〔六年制編入生〕

- 六年制コース分の中を含む。
- 東京大、東京外国語大、名古屋大、三重大、京都大、大阪大、広島大、慶応義塾大、上智大、中央大、東京理科大学、早稲田大、中京大、藤田保健衛生大、南山大、名城大、皇學館大、同志社大、立命館大、関西大、甲南大、神戸学院大、姫路獨協大、川崎医科大学、松山大、産業医科大

### 〔三年制コース〕

- 国立大学
- 三重大、東京海洋大、秋田大、筑波大、宇都宮大、富山大、金沢大、静岡大、大阪教育大、福岡教育大、高知大、琉球大
- 公立大学
- 三重県立看護大、愛知県立芸術大、兵庫県立大
- 私立大学
- 日本大、東海大、駒澤大、東京農業大、専修大、東京電機大、帝京大、東京理科大学、青山学院大、中央大、千葉工業大、杏林大、工学院大、明海大、創価大、明治大、立教大、東洋大、駒澤大、武蔵工業大、北海道医療大、東北芸術工科大、国際医療福祉大、尚美学園大、東京医療保健

女子短大等、計19校 名

大、北里大、東京家政大、東京工科大、東邦大、武蔵野大、明治学院大、駒沢女子大、東京造形大、神奈川歯科大、産業能率大

科大、産能大、中京大、中部大、愛知学院大、愛知大、名古屋外国語大、愛知工業大、愛知淑徳大、南山大、大同工業大、日本福祉大、金城学院大、名古屋学芸大、名古屋学院大、東海学園大、名古屋商科大、名古屋女子大、藤田保健衛生大、椋山女子園大、同朋大、名古屋経済大学園大、同朋大、名古屋経済大学園大、同朋大、北陸大、福井工業大、名古屋文理大、岐阜医療科学大、星城大、松本歯科大、岐阜経済大、岐阜女子大、浜松大、日本赤十字豊田看護大、愛知学泉大、中京女子大、愛知みずほ大、愛知工科大、東邦学園大

皇學館大、鈴鹿医療科学大、三重中京大、四日市大、近畿大、龍谷大、関西大、京都産業大、立命館大、関西外国語大、大阪産業大、長浜バイオ大、徳島文理大、同志社大、京都外国語大、摂南大、阪南大、甲南大、畿央大、京都学園大、京都女子大、大阪電気通信大、大阪工業大、大阪大谷大、桃山学院大、追手門学院大、大阪経済法科大、大阪総合保育大、関西学院大、神戸学院大、同志社女子大、武庫川女子大、帝塚山大、びわこ成蹊大、京都造形芸術大、京都市立女子大、京都橘大、大阪成蹊大、大阪経済大、大阪芸術大、関西福祉科学大、甲南女子大、神戸海星学院大、園田学園女子大、天理大、奈良大、近畿福祉大、福山大、松山東雲女子大、九州保健福祉大

短大

- 高田短大、三重短大、名古屋

### 今春学苑を退職された方々

(中・高)	高山 路子	今井 四朗	(短大)	田口 鉄久
	村山喜美子	草深 克己		石井 啓子
	田中ツヤ子	櫛谷 隆雄		
	山口 誓子	河村 衣里子		
	高藤 亨			
	堀 元昭			

全日制普通課程の高校の中で、本校は最良で最高な状況が続いていると思えます。この状況が途切れることのないよう願っています。

女子短大等、計19校 名  
専門学校  
三重看護専、三重中央医療セン  
ター附属看護専、松阪看護専、  
名張市立看護専等、計52校 名  
海外留学  
カリフォルニア州立大  
就職  
海上自衛隊、日本郵政公社、柳川  
精機(株)、西濃運輸(株)、自営  
以上のような結果でした。昨年の  
会報第50号と同様、四年制大学の結  
果の総てを記しました。  
本校の生徒は、3年又は6年間の  
他校にはない充実した学苑生活を送  
り、そして受験に臨んでいきます。  
受験に際しては、将来をしっかりと  
見ずえています。

# 中・高部活動

## 中学野球部

中学野球部は、毎日厳しい練習をしています。

練習メニューも、キャッチボールや筋トレなど、基礎的なことから試合形式のノックやベースランニングなど、実践を想定したもので、様々です。

夏の最後の大会に近づいてきて、最近では練習試合も数多くこなしています。

実際の試合をやってみると、その中で学ぶことはたくさんあります。監督の伊藤先生の指示は厳しいですが、ちゃんと自分の役割を果たせるよう、みんな努力しています。

また、監督は礼儀にも厳しいです。あいさつや礼はもちろんのこと、グラウンド整備、ライン引きなど、相手チームに対する敬意を監督は大事にしています。

私たちはまだ監督に注意されないとそういうことに気が付きませんが、ただ指示を守るだけでなく言葉も身につけていかなければならぬと思っています。

夏の大会に向けて、練習に励まなければなりません。私たち野球部は、相手に対する礼儀というものをこれからも大切にしていきたいと思っています。応援よろしくお願います。

## 中学なぎなた部

### 戦績

- ・平成17年度東海なぎなた選手権大会 (H17・11月岐南町)
- 演技三位 野畑希和子 服部有希子組
- 個人 ベスト8入賞 4名
- ・平成17年度全国少年武道錬成大会 (H17・8月東京)
- 敢闘賞 古田崇寿佳
- 山中裕貴子組
- ・平成18年度三重県なぎなた選手権大会 (H18・4月三重武道館)
- 演技優勝 鳴神温子・松林藍那組
- 二位 永井美来・中谷 彩組
- 個人二位 松林藍那

新チームとなり、とまどいが見られた中学生も、3年生が少しずつしつかりし、2年生も上級生としての自覚が生まれ、やっと落ちつきが出てきたように思われます。

昨年は、錬成大会、東海大会とまずまずの成績をおさめる事ができました。3年生の人数が多く、切磋琢磨の結果であると思います。新3年生は今まで、割合にマイペースで仲良くやってきましたが、結果が求められる様になりました。又、2年生も1年生の手前、下手な事をするわけにいかず、真摯に稽古に取り組みようになり、しまった空気が生まれてきました。本年も、夏に全国中学生大会・全国少年武道錬成大会・秋に東海大会があります。去年以上の戦績が残せるよう、高校生の胸を借り、精進して大会に臨みたいと思います。

## 中学バレー部

私たちバレー部は今、夏の中体連にむけて毎日練習しています。毎日の練習は大変だけど、みんなが一つの目標にむかって頑張っています。

平日は短大や本校の体育館で練習していて、休日になると様々な中学校に練習試合をしに行っています。

はじめは、全然勝てなかったり、一日練習のときは午後疲れて体が動かなくなったりしました。でも、練習を重ねていくうちに、だんだん体力もついてきて試合にも勝てるようになってきました。地道に練習した成果が表れてくると、とてもうれしいしもっと頑張ろうと思います。

バレーボールというスポーツはチームプレーなので試合の中で一人でも弱気になったりするとチーム全体がすぐずれてしまいます。でも、逆に全員がまとまったときは、一人一人の力以上のものがでる競技です。

バレーボールを通じて「チーム」で勝つという楽しさや、みんなが「持ちつ持たれつ」ということを知りました。また、バレー部に入って、プレーのことだけじゃなくて普段の生活でも良くなったところはたくさんあると思います。練習がつらいと思ったりしたときもあるけれど、部活に入ってから学んだことはたくさんあります。そして、この事を先輩達にも伝えていきたいと思っています。3年は夏までだけ、後悔のないように一生懸命練習していきます。

## 中学陸上部

現在、3年生16名(男8女8)、2年生23名(男9女14)、1年生13名(男9女4)、計52名と、津市内

の陸上部の中では最多人数で活動しています。走るのが速い遅いに関係なく、自分に負けないでベストをつくして、「楽しく、しんどく」がんばっていきましょう。を合言葉に、各自が目標を持ちながらがんばっています。また、平成17年度は、チームの方針としている「One for one」が活かされる成績もたすことができました。主な成績

### 戦績

- ・全日本通信陸上三重大会
- 男子8000m・15000m共に8位
- 3年小林秀爾(東海大会出場)
- ・三重県ジュニアオリンピック
- 女子A2000m第7位 3年 竹内裕理
- 男子B2000m第5位 丹羽弥奈斗
- ・津安芸陸上競技大会(県大出場者)
- 男子2000m第3位 2年 丹羽弥奈斗
- 男子3000m第2位 3年 小林秀爾
- 男子3000m第3位 3年 小林秀爾
- 男子三段跳第3位 2年 伊藤芳彰
- 8000mR第2位 青木・嶋田・山本・丹羽
- 女子1000m第3位・2000m優勝 竹内裕理
- 勝 女子8000m第2位 1年 北野亜紗実
- 女子2000m第3位 3年 黒田真里奈
- 低女4000mR第3位 北村・北野・加藤・高津
- 共女4000mR第4位 田中・工藤・尾崎・竹内

## 平成18年度 中学表彰者

クラブ名	成績
サッカー部	津市中学校春季総合体育大会 優勝
なぎなた部	個人 2位 松林 藍那(3b)
	演技 1位 松林 藍那(3b)・鳴神 温子(3a)
	2位 仲谷 彩(2e)・永井 美来(2b)
	ジュニアオリンピック出場
	松林 藍那(3b)・鳴神 温子(3a)・伊藤 瑞希(3a)
剣道部	津市中学校春季総合体育大会 男子団体3位
卓球部	津卓球選手権大会 中学女子の部 優勝 高藤江美子(3d)
ソフトテニス部	津支部春季ソフトテニス大会 中学生男子の部 3位 中瀬 敦(3c)・垂見 啓俊(3e)
陸上部	第22回 三重県リレーカーニバル
	女子1500M 2c 北野亜紗実 第6位(4分58秒89)(高田最高記録)
	第1回 津市中学校陸上競技大会
	3a 丹羽弥奈斗 3年100m 2位、共通200m優勝、共通400m優勝
	3a 近藤健一 3年1500m 3位、共通3000m 3位
	3c 藤田明日菜 3年100m H 3位
	2a 上杉友貴 2年走幅跳 2位
	2c 北野亜紗実 共通1500m 2位、2年800m優勝
	2e 酒井裕一朗 2年砲丸投 2位
	1c 伊藤祐和 1年100m優勝、1年走幅跳 優勝
	1e 久米秀和 1年1500m優勝
	1b 中村佳帆 1年100m 2位、1年走幅跳 3位
男子低学年400mリレー(上杉2a・伊藤1c・久米1e・酒井2e)優勝	
女子低学年400mリレー(山路2c・山本1c・中村1b・築山2e)優勝	
柔道部	2b 福井将仁 55kg級 2位

・津安芸駅伝競走大会(県大出場)

女子優勝(6年ぶり2回目大会新)

2区区間新記録更新 1年 小林

紗衣

3区区間新記録更新 1年 小林

紗知

4区区間新記録更新 2年 伊藤

あゆみ

男子準優勝

5区区間賞 2年 近藤健一

中学バスケット部

私たちの部は男子25名、女子24名で活動しています。練習日は原則として毎日ですが、体育館を使用できる時間が限られているため、部員には常に集中して練習に臨むことを強調しています。3年間の厳しい練習を通して、技術面での向上はもちろんです。何より精神的な面で素晴らしい選手になって欲しいと考えています。私たちの考える「素晴らしい選手」とは「何事にも一生懸命に取り組む選手」、「周囲に敬意をはらい、気配りができる選手」、「あいさつなど基本的な礼儀が身に付いた選手」です。入部当初は不安気に体育館を訪れていた生徒たちが、日毎にたくましさを増し、誇りをもって練習に取り組んでいく様子を見守りながら、顧問一同全力で指導にあたっていききたいと思えます。

一日となりました。現在中学生27人、高校生37人という大人数で活動しています。これだけの人数が一緒に動くことになるので一人でも周りに気を配らず勝手な動きをすると稽古がスムーズに進まないだけでなく大きな怪我につながる可能性も出てくるため、今まで以上に気を張り稽古に励んでいます。今年のインターハイ予選は男子個人戦(6年 油田 樹)で第3位に入賞した以外はふがない成績となりました。沢山のことを学ぶことなく真面目に誠実に精進していきたいと思っています。中学生は高校生の後ろ姿を見て、自主的に稽古に取り組むことが出来る様になってきました。体の小さい選手が多く、体格的には恵まれてはいませんが一生懸命頑張っています。せつかくやるからには、勝負にもこだわっていきたくと思っています。剣道の理念を忘れ、勝ち負けだけにとらわれるというようなことがないようにだけは肝に銘じて精進したいと思っています。これからもご指導ご鞭撻の程よろしくお願いたします。

高校バレー部

男子は3年生4人、2年生4人、1年生7人、マネージャー2人でやっています。顧問の先生は松本先生と杉井先生です。ベスト8を目標に頑張っています。トップスイミングなどを利用し、体育館以外での練習も取り入れています。体育館では先生のご指導のもと日々練習に励んでま

高校水泳部

す。時には厳しい練習もありますが皆で助け合って乗り越えています。春の大会では目標のベスト8に入り、皆で喜ぶといううれしさを知りました。部活を通じて私生活を見直すこともできました。挨拶や目配り、気配り、心配りなどを学ぶことができました。最後になりますが、体育館を毎日使うことができるといような環境を作ってくださいました学校やご指導してくださった先生方やOBの皆様にご感謝しています。私達男女バレーボール部は、今のメンバーでできる残り少ない練習時間を大切に、汗を流しています。女子は、井ノ口先生と尾市先生と外部コーチのもと、選手が3年2人、2年5人、1年12人とマネージャー3人の計22名で県ベスト4を目標としています。基礎の練習から実戦に近い練習を日々積み重ねています。休日は練習試合を組んでもらい、寧なバレーを心がけ良い所は武器に、弱点は改善するようにしています。また勝つことだけを目標とするのではなく、文武両道を目指しバレーを通して礼儀など学びたいと思っています。私達が好きなバレーをおもいっきり出来るのは、諸先生や今まで伝統を築いて下さった先輩方、私達を支えてくれる家族や周りの人達のおかげだと日々感じています。感謝の気持ちをお忘れず、これからも一生けん命バレーします。

高校水泳部

高校水泳部は多くの新入部員を迎え、40名を超える部員数になりました。4・5月は、様々な工夫をしながら体力強化にはげみ、6月5日か

高校馬術部

らプールを使用した練習に移行します。生徒達はその日を楽しみにしているようです。昨年は、現高校3年生の若浪和希さんが、インターハイに出場し、400m自由形において全国4位入賞、200m自由形において6位入賞という快挙を達成してくれました。津市体育協会からも県内成績優秀者の一人として表彰をうけています。又、現高校2年生の西村成未さんが飛び込み競技でインターハイ出場を果たすなど、多くの大会で選手達が活躍してくれました。今年も、選手達の目標は様々ですが、それぞれの目標にむかって、楽しく前向きに努力していつてほしいと思っています。

高校馬術部

3年生にとって、全国大会出場をかけた最後のチャンスとなる東海予選が6月4日(日)愛知県森林公園で行われました。全国大会出場へ向け、限られた時間・環境の中で練習に取り組み、また県内の競技会に参加をしながら調整をしてきました。メンタル面の弱さ、技術的な伸び悩みと不安要素はありましたが、主将の堅田(3年)、石川(3年)と、昨年の全国大会出場メンバーである梅田(2年)の3名が出場しました。3年生二人はブレッシュャーからか、いつも以上に硬さがみられ大きい減点を科せられましたが二人が終わった時点で他校とほとんど差はなく、梅田がゴールを切れば全国大会出場は確実となります。応援の部員たちそしてOBが見守る中、スタートを切りました。第

高校陸上競技部

1障害でいきなり障害に突っ込み一瞬ヒヤッしましたがその後は立て直し、無事ゴールすることができました。全国大会出場を果たしました。高田高校馬術部として、この喜びをもう一度7月の全国大会で味わえるよう残り少ない日々を練習に取り組み、同窓会の皆様に良い結果をご報告できればと思っています。また、全国大会個人戦の予選では石川(3年)と梅田(2年)が出場選手15名の中、両名とも1回戦は突破しました。2回戦梅田は勝ち上がったものの石川は1点差に泣き、2回戦敗退となりました。4名戦となる決勝まで勝ち残った梅田は、これまでの練習、競技会の中で最高の騎乗をし、僅差で2位となり全国大会出場を果たしました。実力者が多い個人戦で2位になったことは本人にとっても自信につながったと思います。まだ2年生である梅田には本戦では勝ちにこだわらず、思い切ったやってきてもらいたいです。全国大会出場は目標はまず達成することができました。次は全国の高レベルでどれだけのことができるか、ひとつでも多く勝てるよう頑張っていきたいと思えます。

高校陸上競技部

皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。私達陸上競技部は男子31名女子15名で活動しています。顧問は長年指導していただいた黒田先生が御勇退され新任の岡田先生を迎え大橋先生、乙部先生の3名で指導にあたっています。昨年度より校舎新築工事により練習場所を身障者センター中

心に学校や周辺道路にて練習に取り組んでいます。

毎日の練習は、各自が目標を持ち高い意識を持ち行動できるようにまた、陸上競技だけでなく学業の方も疎かにならないよう短時間に集中した練習を心懸けています。限られた時間で他人より成長する為には何が必要かを考え、気が付いたら実行、継続できるように指導しています。

また、本年度は投てき、混成競技、競歩、など多様な目にわたり積極的に取り組んでいます。しかしながら高校から陸上競技を始めた生徒も多数いますが三年間目標に向かって地道に努力してきた先輩が目標を達成したり、東海・全国大会で活躍された背中を見て学んだことを自分達も実行し、喜びを感じることができるよう努力していく所存です。そして個人競技ではあるがゆえ「チーム力」を強く意識し、共にかんばる仲間を増やして、絆を強く太くしていつてほしいです。最後に新チームの主な成績は次のとおりです。

・平成17年度県新人大会(東海大会出場)

- 400mH 第5位 瀬川剛史
- 3000mSC 第6位 朝倉 力
- 平成18年度県春季大会
- 400mH 第6位 瀬川剛史
- 4x100mリレー 第6位(下津・谷口・加納・鷲尾)

- ・平成18年度県高校総体
- 400mH 第8位 瀬川剛史
- 3000mW 第5位 池村理佐
- 平成18年度全日本競歩輪島大会
- ジュニア5 第2位 池村理佐
- ・平成18年度全日本ジュニア競歩石

川大会  
ジュニア3000m 第7位 池村理佐

高校ソフトテニス部

僕がこの部活に入ったとき、毎日外周を二十周走らされました。最初は厳しい部活だと思いましたが、そのおかげでとても根性がつき真剣に部活に取りくむことができました。僕がキャプテンに選ばれたとき僕は皆をまとめることやキャプテンとしての仕事をまっとうできるかなど、とても心配でしたが副キャプテンやみんなが協力してくれたおかげで助かりました。練習では最初のうちは声があまりでていかなかったけど皆で声だせよ、と呼びかけあったおかげで声もでてくるようになり、より部活らしくなりました。雨の日は筋トレやフットワークの練習をしたりソフトテニスのビデオを見せてもらったりしました。雨の日はあまり部員が来なかったときがあつたけど毎日欠けをとり始めたら無断で休む部員が少なくなり、全員が部活に参加する日が多くなりキャプテンとしての自信が向上した気がしました。

僕がこの部活で得たものは数えきれないほどありました。チームワークや協力することなど大切なことがたくさん学べることができ努力すればするほど自分達に実力と自信がつきました。大会では試合をしているベアの応援を皆ですることができ、僕たちは練習で培ってきたことを発揮することもできました。

僕たち3年生はもう引退したけど悔いを残すことなく引退できたので後輩達に部活をまかせることができ

ました。これからは僕達の意志を引き継いで頑張ってください。思い出をありがとうございます。  
喜多 洗平

高校野球部

私達、野球部は3名の先生方の御指導の下に、選手51名、マネージャー3名で活動しています。部員達は上下関係と礼儀を大切にしつつも、学年を問わず仲間として団結できるチームワークを築けています。練習では皆、泥まみれになりながらボールに飛びつき、声をはり上げてチームを盛り上げます。辛くて悔しい時も仲間達や先生方のアドバイスに救われ、前向きに頑張る事が出来ました。

秋季大会では、あと一歩及ばず県大会出場をのがしてしまいました。春季大会でも、本来の実力が発揮できず次への課題が残る結果となりました。しかし、今年は無数の新入部員が入り大所帯となつたおかげで競争意識も強まり、一人一人がレベルアップできているように思えます。3年生にとって最後の夏。今まで一緒に汗を流した仲間と少しでも長く野球が出来るようにとチームのムードも高まってきています。私達は野球が大好きです。そして大きな目標もあります。大好きな野球を大好きなチームでやれる。目標に向かって努力できる。そんな57人の幸せが染み込んだバットとグローブを握りしめ、今日もグラウンドは熱気に包まれています。

高校なぎなた部

戦績

- ・平成17年度東海高校総体(H17・6月稲生)
- 個人優勝 吉田奈未
- 三位 小津万朱美
- 団体 優勝
- ・平成17年度全国高校総体(H17・8月埼玉)
- 個人 吉田奈未 予選リーグ敗退
- 塚本明子 決勝トーナメント2回戦進出
- 団体 予選リーグ2位敗退
- ・平成17年度国民体育大会三重県代表選手 塚本明子
- ・平成18年度三重県高校総体(H18 5月稲生)
- 演技三位 山中裕貴子・服部有希子
- 四位 中西真理・小林英里奈
- 個人三位 塚本明子
- 五位 中西真理
- 七位 小林英里奈
- 団体二位

以上東海総体出場  
平成17年は10年ぶりに団体でインターハイ出場をはたすことができました。東海総体では悲願の総合優勝をはたし、一つの区切りとなる年であったと思います。残念ながら、本年度は選抜、インターハイともにあと一步の所で出場を逃し、くやしいう年となりましたが、東海総体の出場権は確保し、連続優勝にむけ、再調整の最中です。今までと違い、今度はインターハイでいかに結果を出すかが求められる状況となりました。県内、東海にとどまらず、全国レベルの力をつけられるよう、心技体、全ての面でランクアップを目指して稽古をつみたいと思います。

高校ハンドボール部  
男子9人、女子10人の新入生が入部し、現在ハンドボール部は、合計男子19名、女子16名で活動しています。

昨年12月に行われた新人大会では、男子は、1回戦四日市西高校に、女子は、1回戦名張西高校に敗れました。今年4月に行われた春季大会では、男子は1回戦四日市高校に、2回戦三重高校に勝ちましたが、3回戦四日市四郷高校に敗れました。女子は、1回戦桑名高校に勝ちましたが、2回戦四日市四郷高校に敗れました。この大会で男女とも県ベスト8に入ることができました。先日行われた三重県高校総合体育大会では男子は、1回戦シード、2回戦三重高校に勝ちましたが、3回戦四日市四郷高校に敗れました。女子は、1回戦津東高校に勝ちましたが、2回戦名張桔梗丘高校に敗れました。この大会でも、男女とも県ベスト8に入ることができました。

まだまだ、満足のいく成績は残せていませんが、3年生が引退し、1年2年主体のチームになり、チームとしての意気込みも高まっているところではあります。まずはベスト4に入賞できるように頑張っていきたいと思えます。卒業生の皆様、もし時間を作っていただくことができましたら、是非、高田高校グラウンドまで足を運んでいただきたいと思います。

高校バスケット部  
僕達高校バスケットボール部では今、3年生が県総体後引退して、2



年生男子10人、女子5人、1年生男子8人女子8人の新チームで頑張っています。

練習はほとんど毎日、週に一度神社に走りに行ったり、筋力トレーニングなどをして、体力作りをしています。ほかの日は、オフエンス、ディフェンスの基礎から応用まで練習しています。オフエンスでは、ツームンやスリーメンなどの走る練習

はもちろん、ハーフの四対四や五対五などの攻め方の練習など色々したりします。ディフェンスでは、足腰を鍛える基礎的な練習をたくさんこなして、一対一や二対二のディフェンスの仕方の練習をしていきます。練習は大変ですが、チームが試合で勝てば、今までの疲れもなくなってしまうくらい毎日充実して練習しています。

その結果、男子は今年、新人戦、高校総体と共に地区予選を勝ち抜いて、県大会に出場しました。

また、女子も経験者の新入生を多く迎え、パワーアップしました。今年こそは！と一生懸命取り組んでいます。

今年は、みんなで声を出し合って、共に喜び、共に助け合えるような最高のチームにして、先輩達の成績を越えられるように頑張っていきたいと思っています。

高校卓球部

男子卓球部(部員・33名)は新しい体育館で、毎日、練習に励んでいます。

(戦績)

全国総体兼東海総体県予選会  
男子シングルの部

・第六位 高藤雅史  
全国総体兼東海総体県予選会  
男子ダブルスの部

・第三位  
山口春樹・高藤雅史組

・第四位  
後藤和真・小林勇斗組

男子学校対抗の部

・第四位  
高田高校

六月十七日・十八日、愛知県体育館で行われる第53回東海高等学校総合体育大会に出場できることになりました。

女子卓球部(部員・8名)も男子と共に毎日目標に向かって練習しています。県代表に選ばれた選手から初心者までレベルは様々ですが、確実に上達し成果を上げています。

全国総体兼東海総体県予選会  
女子シングルの部

・第七位 長尾亜紀  
女子ダブルスの部

・第四位  
長尾亜紀・三浦亜由美組

女子学校対抗の部

・第三位  
男子と同様、6月17日、18日に行

われる第53回東海高等学校総合体育大会に出場できることになりました。「高田」の名を背負い、精一杯頑張りたいと思います。

高校新体操部

新体操部です。本年度も部員一同、部活と勉強の両立を目指し、日々練習に励んでいます。普段の練習としては、基礎体力作りを中心に基本的な技はもちろん、高度な技への取り

組みも行っています。高度な技を練習するさい、一番の妨げになるものが恐怖心です。しかし、それを乗り越えていかなければ、試合でいかにミスなく演技をしたとしても、点数が上がりにません。また、試合は個人競技なら一分三十秒、団体競技なら三分。この短い時間で全てをだすくさなければなりません。当然、ミスは即減点につながります。今回のミスを次回で取り戻すということができません。従って選手たちには、そうした恐怖心、緊張感に打ち勝つ精神力も同時に磨いてもらうことを目指しています。

さて、本年度の主たる大会といったしましては、六月の東海高校総体、八月のインターハイがあります。個人競技では、本年度キャプテンの安川智也と副キャプテンの世古口真成

がインターハイ出場一人の枠をめぐるのぎを削っています。お互いがライバル心を持ちそれぞれの課題を克服していけば、どちらが出場しても良い結果を期待することが出来ます。また、団体競技でインターハイ出場を目指すためには、現在の2年生部員の活躍が不可欠ですので、今後の伸びに期待しています。

仏青インターアクトクラブ

ここ数年、各国で発生する大地震や飢餓への救援募金に協力。羅災地の人々に少しでもお役に立てばと願いつつ活動しています。昨年は、一身田寺内町祭りの時、津北ロータリ

第56回三重県高等学校総合体育大会

平成18年5月26日 ~ 29日

Table with columns: 部名, 競技, 組, 席, 氏名, 成績, 東海大会出場, 東大会出場. Rows include categories like ソフトテニス部, ハンドボール部, 卓球部, パレー部, 陸上競技部, 馬術部, 柔道部, 剣道部, なぎなた部, 新体操部, サッカー部, ボクシング, 自転車, フェンシング.

「クラブの皆様方から寄附して頂いた品物三百点余りをバザーに出店し即売。たちまちに完売となりパキスタン復興支援に送りました。仏青クラブとロータリアンの人々と共に協力し合った画期的な活動でありました。継続的に今後もこうした活動を是非、行っていこうとの多くの声をもらいました。

寺内町の玄関であるJR一身体駅の美化運動として、津西ライオンズクラブ十周年記念事業及び津市社会福祉協議会のご支援により、花壇作りを展開しています。水やりなどの世話や季節ごとの花植えに大変、苦労しますが、頑張っていています。花に興味のなかったクラブ員も、花の名前を知ったり、育て管理することから、生命の尊さや季節を感じていてくれます。

ロータリークラブから国際交流の一環として毎年、韓国、アメリカへ交換学生として派遣してもらっています。この他にも地域のボランティア活動にも積極的に参加しています。

部室もリニューアルした第二体育館にあり、スペースも広く、他校には見られない程、すばらしい環境設備があるので、先輩の築いてくれた伝統をより発展させていきたいと思っています。目下、23名の部員で活動を行っています。新入部員は3名なので、その増員が課題です。  
(部長 大竹亮寛)

**吹奏楽部**

現在、吹奏楽部は、約75名で活動しています。  
新しい第二体育館が完成。その2

階に、新しい部室も作られました。新部室は、前よりも広く、楽器や楽譜の収納スペースも増えました。絨毯張りや空調も付いており、快適な空間で毎日練習しています。

この一年間も、各種大会や演奏会に出演してきました。主なものとしては、三重県吹奏楽コンクール、中部日本吹奏楽コンクール、アサンブルコンテスト等の各種大会や、中勢地区合同演奏会フレンドシップコンサート・イン・プラスに出演。また、校内の文化祭や卒業式等の学校行事での演奏も行いました。

その中で、今年3月に青山町で行われた管楽器個人重奏コンテスト個人の部で、アルトサクソ2年生が金賞受賞。重奏の部では、金管9重奏が金賞を受賞しました。

今年度は、6月4日に、第10回フレンドシップコンサート・イン・プラスに出演。この演奏会で3年生は引退。1、2年生で8月のコンクールに出演し、その後、文化祭や県民文化祭、アサンブルコンテスト等、校内外で積極的に活動して参りたいと思います。

**箏曲部**

高校箏曲部は昭和52年に同好会として発足してからちょうど30年目を迎えました。昨年三月まで、十四年間、生田流宮城会の西川正枝先生のご指導のもと、多くの卒業生が、琴という楽器の魅力と先生のすばらしいお人柄に触れて、巣立っていきま

した。西川先生なくして今の箏曲部はありません。六年間琴を弾き続けて、大学でもやめられず、卒業して顧問として戻ってきた河原貴子先生

はじめ、全国各地に、琴を教えたりグループを作って演奏活動を続けているOGもいます。お琴は弾かないで、心を癒しにきていた生徒もいました。すべてを包み込む温かい雰囲気や箏曲部にはありません。

昨年の四月から同じく生田流宮城会、東海かおり先生に指導を仰ぐようになり、箏曲部に革命が起こりました。昨夏のコンクールでなんと県で一位に選ばれたのです。それは長年の悲願でありました。県二位には数回選ばれてはいましたが、優勝はじめての快挙です。そして今年、京都で行われる全国高校総合文化祭に三重県代表として出場が認められました。8月6日、長岡京市で部員達は精一杯の演奏をしてくれることでしょう。

さらにうれしいことに、今年四月からは、36畳の広さをもつ新部室をいただくことができました。空調設備の整った快適な環境で、暑さも寒さも知らず、練習に専念できるのですから、有り難いことです。

今日までの経過をすべて知っている古参顧問の私ですが、初年度、3面のお琴に23人も部員が群がるようにして弾いていた、部室も空調もない時代が妙に懐かし、そのころの思い出が鮮やかによみがえる昨今でもあります。顧問 辻井明子

**短大だより**

**進路状況**

今、労働市場は大きく変化をしています。今年の2月に厚生労働省は199

2年以来13年ぶりに有効求人倍率が1・0になったと発表しました。これは、景気回復に伴うと雇用の増大と、企業の生産活動が順調に拡大しているというものでした。将来の景気を睨んでその戦力となる人員を増加させるのは当然と思えますが、しかし、その中身をよくよくみると正社員が0・65倍、常用パートタイム労働者は1・41倍と非正規雇用の求人だけが増大してトータルとして1・0に達したのであります。以前、産業の空洞化が問題になりました。安い労働者を求めて生産拠点を海外に移転させました。近年、日本の国内でも安い労働力を作り出すために5年ほど前から労働法の改正が進み結果として若年労働者の働く意欲を削ぐ形になりフリーターからさらにニートへと事態はますます悪化して社会問題化しています。総務省の労働力調査によると2005年12月の完全失業率が4・4%で前年同期より少し減少していますが、24歳以下だけをみると完全失業率は9・9%と男子・女子とも前年より増加しています。

いよう条件整備をすることが急務だと思えます。また、企業の求人活動をみていると「即戦力」の名の下に労働戦士10年以上の能力を学生に求めている傾向があります。最近、通年採用と称して応募してくる学生の中で企業が求める人材に巡り会うまで内定を出さない企業も増加しています。学校もスキルアップなどと称して若者の自由な気風を一点に集中させ能力アップさせていますが、やはり学校はどの会社でも通用する一般教養を身につけさせ、その部門のスペシャリストは企業の業種や職種によって異なりますから企業が養成することが必要なのではないでしょうか。

20年ほど前に日経連が10%のギリ1トと90%の物言わぬ労働者という構想を発表したことがあったが、今それが現実のものになったような気がする。だが、物言わぬ労働者は二1トという形で約200万人が職場放棄、所謂ストライキに入っているのではという感があるのは私だけでしょうか。

学 科	卒 業 数	就 職 希 望 者	内 定 者 数	四 大 編 入 等
幼児教育学科	120	116	116	4
オフィス情報学科	84	73	73	11
計	204	189	189	15
本学平均 (%)		92.6	100	
県内平均 (短大)		79.9	97.3	

主な進路先  
 幼稚園23名 保育園84名  
 施設関係3名 建設業2名  
 製造業16名 運輸通信業1名  
 電気ガス業2名 卸小売業26名  
 金融業4名 医療福祉15名  
 サービス業13名 計189名  
 四大編入等  
 愛知学院大学 愛知大学 鈴鹿国際  
 大学 愛知文教大学 三重大学研修  
 生 高田短期大学

部会だより

北端 一子

短大を昭和四十五年の三月に卒業してから、乳幼児教育の仕事にかかわってきています。家庭を持ち、子どもが生まれても、仕事を一度も辞めたいと思つたことは、ありませんでした。夫の理解と家族の支えがあつたからだと思います。自分一人でも何かもするといふことは不可能です。家庭での仕事は、今でも掃除・洗濯・料理と、女性として基本的なことは満足に出来ませんが、周りの協力のおかげで、なんとか生活をしています。朝は元気でですが、仕事を終えて帰宅すると、身体が疲れ何もする気がなくなります。家に帰ると甘えが出るのでしょね。誰かがしてくれると思うからでしょうか。身体を横にすると、うとうととしてきます。年のせいにはしたくありませんが、やはり年なのでしょつか？若い世代が後に残っていますので、気合を入れてがんばっています。

さて、四月末日、高田短大同窓会の役員会があり、前年度の反省と今年度の予定を話し合いました。全員仕事を終えてからの集合ですので、午後七時に高田短大に集まります。全員が揃うことは少ないですが、同窓会を育てていくために話し合つて

国際交流委員会

国際交流の歩みと今後

国際交流委員会 千草正道

います。今年度も高短祭にてバザーを計画しております。高短祭は、十月二十八日と二十九日です。二十八日の土曜日にバザーをします。ぜひ来校して楽しんでください。そして、バザーへの出品と購買もご協力ください。今年度は、理事の皆様全員に、各同期の同窓会の補助がしやすいように、申請用紙を同封させていただきます。相談して活用してください。懐かしい友との再会を計画しましょう。高田短期大学の卒業生として同窓会を盛り立てていこうではありませんか。良き先輩として道を作っていくたいものです。ぜひ皆様も一緒に作りましょう。

国際交流教育が言われ始めて久しく、現在、多くの教育機関等で行われるようになっていきました。本校でも、オーストラリアのパレード、セントモニカ両校との交流も、この九月のオーストラリア生の来校で十三年目を迎えます。その間に、延べ四百四名の高田の生徒が両校を訪れ、二百五十八名のオーストラリアの生徒が本校を訪れました。また、高田の先生方も七十三名が両校を訪問し、その交流は、両校にとつて、またそれぞれ個人にとつて有意義なものとなつてきました。このプログラムに参加した生徒からは、「もっと英語を学習したくなつた」とか、「視野が広くなり、物の見方、考え方が変わった」という声が聞かれます。平成十三年度からはシンガポールの

学校とも交流を始め、本年度からは新しく新民セカンダリースクールとの交流を計画中です。そしてその第一歩として、この六月に新民セカンダリースクールの先生方三名が来校される予定です。

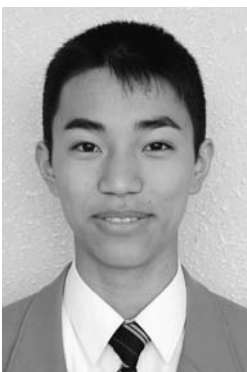
本校が国際交流を始めた平成六年の頃は、何をどのように進めていけば良いのかまったく手探り状態で、その場その場であたふたと対応していました。それが回を重ねるにつれて、次第にしっかりとした形が出来上がつていき、今では多くの先生方の協力の下、かなり充実した内容となつていきました。

私の学生時代を思い起こすと、ネイティブの人と話す機会どころか、実際に外国人を見かけることすら稀で、国際交流など考えもしない時代でした。学校の授業においても、書かれた英文を読んで訳すということが中心で、現在のようなネイティブの先生によるオーラルコミュニケーションの様な授業は無く、聞いたり話したりという、英語の音声面の学習はほとんどなされていませんでした。テレビやラジオで僅かに英会話の番組があり、また、ある学習教材の会社から、リングフォンなるリスニング学習用の装置が売り出され、「斬新で画期的な装置やなあ」と思つたことを覚えています。

それに比べ現在は、テレビ、ラジオの二ヶ国語放送や多くの英語学習用番組。本屋に行けば、雑誌、書物などの学習教材が溢れ、英会話スクール、特に最近では幼児英会話なども盛んなようで、英語の学習環境はすばらしく整つており、本人が望めば、いくらでも勉強できる状況です。そして休みともなれば、国際空港のロビーは若者や家族連れで溢れ、海

学苑トピックス

第47回国際数学オリンピック  
 第18回国際情報オリンピック  
 二種目出場 5年片岡俊基君



数研部の部長である6年コース5年d組の片岡俊基君は、国際数学オリンピックの国内予選となる第16回日本数学オリンピックにおいて金賞を受賞し、日本代表に選ばれ、7月の第47回国際数学オリンピック・スロベニア大会に出場することになった。一昨年のギリシャ大会、昨年のメキシコ大会に続いて3年連続となる快挙である。

片岡君は小学校時代から日本数学オリンピックに参加してきたが、本

年は最優秀の金賞を受賞し、日本一になつての国際数学オリンピックへの出場である。ギリシャ大会では銀メダル、メキシコ大会では金メダルで金メダルを獲得しており、本年も金メダル獲得の最有力候補である。

また、片岡君は、情報(コンピュータサイエンス)に関する理論、アルゴリズム、プログラミング)についての能力を見出し育成することを目的とした国際情報オリンピックの国内予選となる、第5回日本情報オリンピックにおいて、8月の第18回国際情報オリンピック・メキシコ大会にも出場することになった。

片岡君の活躍は数学から始まり、今や情報、物理にまで広がってきている。国際物理オリンピックの国内予選である物理チャレンジ2005にも参加して銀メダルを獲得し、国際物理オリンピックでも日本代表になる可能性もあつたが、日程の関係で三種目での日本代表にはならなかつた。しかし、二種目で日本代表になる事自体驚異的なことであり、おそらく日本では初めての事ではないかと思われ。計り知れない可能性を持つ片岡君の今後の活躍に期待し、応援していきたいものである。

(5年担任 数研部顧問 下村尚)

天文部 プラネタリウムコンクール2連覇を達成  
 松阪市中部台にあるみえこどもの城が主催する全国プラネタリウムコンクールで天文部がみごと2連覇を達成しました。全国の星に関心のあるアマチュアが星空解説を競うというもので、2月11日に予選を勝ち抜いた10チームが本選に出場します。

昨年は、田中美奈(6b)と中村基(5d)のペアで「星座との出会い」という作品を発表、みごと最優秀賞を射とめました。

今回は、天文部および中学科学部地学班の2チームが本選に出場し、天文部岡田康平(4d)・笠井悠未(4c)が「星取物語」という作品で最優秀賞に輝きました。また、西尾学(2c)、山本健二(2e)の中学生チームも「銀河鉄道の夜PART」という作品で奨励賞をいただきました。

これも高田中等高等学校に全国でもめずらしいプラネタリウム施設があるからです。他のチームより、すばらしい環境に恵まれ、数多く練習できたからです。

次回もいい作品をつくり三連覇をねらっていきたくと思っています。現在、新築しています3号館にも伝統のプラネタリウムを新しくつくっていただけることとなり、3号館の完成を心待ちにしております。新しくできましたら、ぜひ卒業生の皆様も気楽に見に来ていただきたいと思っています。

天文部顧問 鈴木公朗

俳句

俳句同好会が発足し、正規の会員を募って初めての年度がスタートしました。四月当初、中高あわせて数名だった会員も一月ごとに増え、六月には十数名を数えるようになりました。現在は第9回俳句甲子園の三重県大会に向けて兼題句の句作を行っています。俳句については新人がほとんどであるため、俳句の基礎から学んでいます。六月中旬には読売新聞社が新しく同好会を立ちあげた文芸活動ということで取材に来

校し、新聞紙上に掲載されることになっていきます。俳句甲子園大会準備、神奈川大学高校生俳句大賞二年連続最優秀賞受賞など、数々のコンクールで受賞を果たした上級生の足跡は大きく、これに少しでも近づけるよう新会員一同、努力を重ねていきたいと思っています。

活動は週二回句を持ち寄り批評会を行ったり、句会を開いたり、俳句甲子園に向けてディベートの練習をしたりしています。俳句を通して素晴らしい日本の言葉に触れることがこの同好会のねらいです。季語の中には死語となっている語や、若い世代には意味を解することさえ今では難しくなってしまう語がたくさんあります。今、社会問題にもなっている国語力不足を補い、読書力をつけるために、そして美しい日本の四季を知るために、俳句は素晴らしい糧になると考えます。また世代を越え大くの人々が趣味としているのが俳句です。俳句を通じて様々な人々との交流が出来ればと考え、校外での活動にも積極的に参加していきたいと思っています。

会員だより

入院記

大森生己(タカミ)(桂歌)

(昭和二十六年高卒) 浦に満ちていた冬かもめ真鴨が三月下旬より北へ帰った三月末自転車転倒し一日於てS総合病院内科病棟へ即入院した。

咳が続いて苦しく肺炎の疑いもあつて精密検査を受けた。そして先ず血糖値が高いこと、平熱ではあるが細菌に感染しての咳で

あることが主治医より告げられた。半世紀ぶりのそして内科への入院は私の人生の初めての事案でもあつた。

折しも病窓は花満開の季節で、夜は光りの中の花々は輝やいて病室の白いベッドで三食付きの生活は時間の流れが遅いのを日夜実感した。

花の夜のベッド我が血の抜かれゆく  
桂歌

退院の日を待ち侘びる心が日増しに強くなつたが病棟のナースは訓練されていて親切で私の心に印象を濃くしてゆく日夜でもあつた。

春夜病棟眉目美しきナース居て  
桂歌

今年採用された美人の乙さんの、心に残る人となり私は忘却することはない。文庫本読み切り積み遅日暮れ  
桂歌

一四〇〇カロリーの三食も品数が多く毎食後腹が充ちているのが私の入院の現状であつた。一方で熟眠は出来ず不眠は続いて家のふとんの肌ざわりを恋しくなつてゆくのは防ぐことは出来なかつた。その後

十三日間の入院生活に退院を主治医より告げられ歓喜したのは言うまでもない。その間長男二男と毎日のように病室へ顔を見せ心配りをしてくれたのはしあわせであつたと今も肝に銘じている。

入院する二三日前二男の新居へ行ってローンの足しにと約束の五百万円を手交してその直後この始末であ

る。思えば十三日間過こした病棟の白いベッドと決別し十二日夜長男に付き添われて家路に着いたのであつた。そして現在はもう咳も止まり回復し血糖値を抑える錠剤のみ服用し、しなやかに平常に戻りつつあるのを付記したい。

深呼吸重ね退院花は葉に  
桂歌

(松阪市地域審議会審議委員)

訃報 (松阪市地域審議会審議委員)

齊藤 慧教 (S5 専門卒)
長谷川 生 (S6 専門卒)
古田 弘澄 (S6 専門卒)
磐城 龍英 (S11 専門卒)
近藤 光昭 (S22 専門卒)
小林 英生 (T15 旧中卒)
倉田 博夫 (S2 旧中卒)
井崎 敏夫 (S8 旧中卒)
大西 純正 (S13 旧中卒)
小林 敏宗 (S15 旧中卒)
澤田 政郎 (S16 旧中卒)
上田 剛 (S18 旧中卒)
滝野 昭治 (S20 旧中卒)
堤 清 (S20 旧中卒)
蓮見 誠典 (S20 旧中卒)
山下 和美 (S22 旧中卒)
湯浅 篤彦 (S22 旧中卒)
平田 庄三 (S23 旧中卒)
門松 一義 (S51 高校卒)
西口 潔 (S59 高校卒)
渡辺 隆 (S28 中3卒)
行方 修 (S30 中3卒)
河寄 一茂 (S30 中3卒)
田中 桑松 (S31 中3卒)
河戸 宏行 (S52 中6卒)

事務局だより

平成17年5月より高田学苑樹心同窓会のホームページを学苑ホームページに追加させていただきました。連絡先の変更等はホームページの変更フォームかEメールからお知らせください。また、今後同窓会の報告などありましたら会員だよりに掲載させていただきます。その他、何かご意見等がございましたら左記メールアドレスへご連絡ください。

アドレス：  
http://www.nie-takada-hi.ed.jp/  
Eメール：  
usting@nie-takada-hi.ed.jp

個人情報 収集した個人情報については適正な管理者のもとに適正な管理をすることで、常に個人情報保護に努めます。原則として第三者への提供や開示などはしません。尚、昨年度の変更フォームへのご利用状況をご報告します

中6	32名	合計	134名
高校	63名		
短大	19名		

その他、変更フォームにある備考の欄にひと書き書いてくださる方もみえますので、少し紹介させていただきます。

Q 同窓会を開きたいのですが、連絡する方法を教えてください。 A 同窓会事務局までお知らせ下さい。 ・ホームページに掲載の際PDFやJPEGではなくHTMLで普通のページとして掲載した方が閲覧が容易だと思います。他にも貴重なご意見や質問をいただきたいと思います。